

In-Sight® Explorer 5.8.0 リリースノート

© Copyright 1999-2019 Cognex Corporation. All rights reserved.

Revision: 5.8.0.3, 2019 November 18

概要

本書は In-Sight Explorer ソフトウェアについて説明します。本書は次のトピックから構成されています。

- [システム要件](#)
- [新しい機能](#)
- [修正点](#)
- [既知の問題](#)

注: 最新のリリースノートやドキュメンテーション (各国語版も含む) は、[In-Sight サポート](#) でダウンロードできます。

システム要件

この節では、In-Sight Explorer ソフトウェアのシステム要件について説明します。

PC ハードウェア最小および推奨要件

注:

- ハードウェアの最小要件とは、In-Sight の処理負荷が低い環境で、解像度の低い In-Sight ビジョンシステムを 1 台だけ接続している PC を指します。
- 推奨されるハードウェア要件とは、同時に 4 台までの In-Sight ビジョンシステムを接続している PC を指します。

最小要件	推奨要件
1.8GHz 動作の Intel® Celeron® 1000M プロセッサ (または同等品)	2.7GHz 動作の Intel® Core™ i7 プロセッサ (または同等品)
2GB の RAM 空き容量	4GB の RAM 空き容量
4GB のディスク空き容量	8GB のディスク空き容量
24 ビットカラーで解像度 1024×768 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。	32 ビットカラーで解像度 1920×1080 の表示が可能なビデオカード。画面の DPI 設定は 96 DPI に設定します。
In-Sight ビジョンシステムに接続するためのネットワークインタフェースカード (100Mbps 以上)	複数の In-Sight ビジョンシステムに接続するためのギガビットイーサネットネットワークインタフェースカード

オペレーティングシステム要件

In-Sight ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムで動作することを確認しています。

- Microsoft Windows 7 Professional、サービスパック 1 (64 ビット)
- Microsoft Windows 10 Professional (64 ビット)
- Microsoft Windows Server 2016

In-Sight Explorer はそのほかの Windows オペレーティングシステムにもインストール可能で、動作することがありますが、前述の要件を満たさないシステムはサポート対象外です。

言語サポート

- 中国語 (簡体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語 (ヨーロッパ系)

サポートしているファームウェアバージョン

In-Sight 5.8.0 ソフトウェアには、次のファームウェアバージョンが含まれています。

- In-Sight 5.8.0
- In-Sight 4.10.5 PR2

以前のファームウェアを搭載している In-Sight ビジョンシステムは正常に動作することもあります。サポートされていない機能があり、また十分にテストが行われていません。最適なパフォーマンスを得るには、In-Sight Explorer ソフトウェアおよびファームウェアは、最新バージョンを使用してください。モデル一覧およびサポートされているファームウェアバージョンについては、英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプの「Firmware Versions」(ファームウェアバージョンのトピック) をご参照ください。英語版 In-Sight Explorer オンラインヘルプのデフォルトロケーションは、C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.x.x\Documentation\Help\Help_ISE_EN.chm です。

In-Sight ファームウェア 5.8.0

- In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサ
- In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステム
- In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Micro 8000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 9000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight Advantage Engine

In-Sight ファームウェア 4.10.5 PR2

- In-Sight Micro 1000 シリーズビジョンシステム
- In-Sight 5000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムを除く)
- In-Sight 7000 シリーズビジョンシステム (In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムを除く)

Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および 4.5

In-Sight ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 および 4.5 が必要です。システムに検出されない場合、自動的にインストールされます。

注: In-Sight Explorer を、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 を無効にしたシステムにインストールを試みているときに、Windows Update が処理中の場合、エラーメッセージが表示されることがあります: Error installing Microsoft .NET Framework; Error code 0x800f081f このエラーが発生した場合、Windows Update が完了するのを待って (再起動が必要です)、In-Sight Explorer をインストールしてください。

新しい機能

新しい機能	ファームウェアバージョン
<p>PROFINET Conformance Class B をサポートするようになりました。PROFINET Conformance Class A の基本機能に加え、SNMP (Simple Network Management Protocol) をサポートします。</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> PROFINET Conformance Class B は、ファームウェアバージョン 5.8.0 以降を搭載した In-Sight 2000 シリーズ、7000 Gen2 シリーズ、In-Sight 8000 シリーズおよび In-Sight 9000 シリーズでサポートされています。 PROFINET Conformance Class B は、In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムではサポートされていません。In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムは、以前のリリースと同様、PROFINET Conformance Class A をサポートしています。 <p>ビジョンシステム/センサ上で、すでに PROFINET が有効になっている場合に、ビジョンシステム/センサのファームウェアバージョンをアップグレードするには、次の手順に従ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 新しい GSD ファイル (GSDML-V2.34-Cognex-InSightClassB-20190809.xml) を Siemens HW Config ツールにインストールします。この GSD ファイルは、In-Sight Explorer 5.8.0 ソフトウェアに含まれています (C:\Program Files (x86)\Cognex\In-Sight\In-Sight Explorer 5.8.0\Factory Protocol Description\GSD)。 In-Sight ビジョンシステム (In-Sight XXXX バージョン) を PROFINET I/O システムから削除します。 <p>注: 削除する前に、既存の In-Sight ビジョンシステム/センサ用の IO モジュールアドレスのスクリーンショットを取っておくことを推奨します。これにより、同じ IO アドレスを新 CC-B バージョンに簡単に復元できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> Hardware Catalog から In-Sight XXXX CC-B バージョンを選択して構成に追加し、再コンパイル後、ダウンロードします。 新しい構成を追加する際、IO モジュールアドレスを必ず再チェックしてください。変更されている可能性があります。 <p>上記の手順に従わない場合、PLC はビジョンシステムに接続できなくなります。</p> <p>詳細については、In-Sight サポート から、『Conversion Guide: PROFINET Class B and In-Sight Explorer 5.8.0 Upgrades for TIA Portal』をダウンロードしてください。このガイドには、PLC を更新する際の、より詳細な手順やベストプラクティスが含まれています。</p>	5.8.0
<p>OPC UA (オープンプラットフォームコミュニケーション - 統合アーキテクチャ) をサポートするようになりました。OPC Foundation によって開発された最新の通信プロトコルで、産業用デバイスおよびシステムにプラットフォームに依存しない、安全なオープンアーキテクチャソリューションを提供します。In-Sight の場合、ビジョンシステムまたはビジョンセンサは OPC UA サーバとして機能し、OPC UA クライアントと直接通信できるため、追加のハードウェアは不要です</p> <p>注:</p> <ul style="list-style-type: none"> In-Sight OPC UA サーバは、ファームウェアバージョン 5.8.0 以降を搭載した In-Sight 2000 シリーズ、7000 Gen2 シリーズ、In-Sight 8000 シリーズおよび In-Sight 9000 シリーズでサポートされています。 In-Sight 5705 および 5705C ビジョンシステムではサポートされていません。 既存の In-Sight OPC クラシックサーバもサポートされています。4.x.x および 5.x.x ファームウェアバージョンを搭載したビジョンシステムで使用することができます。 OPC クラシックサーバは In-Sight 2000 ビジョンセンサではサポートされていません。 	5.8.0
<p>[ネットワークの設定] ダイアログおよび EasyBuilder [通信] アプリケーションステップが更新され、[OPC UA サーバ有効] チェックボックスが含まれるようになりました。ON にすると、In-Sight ビジョンシステム/センサは OPC UA サーバとして機能し、OPC UA クライアントと直接通信できるようになります。詳細については、In-Sight Explorer ヘルプおよび EasyBuilder ヘルプの『OPC UA サーバの有効化』トピックをご参照ください。</p>	5.8.0

新しい機能	ファームウェアバージョン
EV SetSystemConfig("OPCUA.TimeSync",[TimeSyncFrequency],[InitialTimeoutSec],[TimeSyncFrequencySec],[WriteProcSet]) 拡張ネイティブモードコマンドを追加しました。OPC UA タグのタイムスタンプ用の時刻同期を設定します。	5.8.0
[スコアの正規化] オプションを次の EasyBuilder ツールに追加しました。低コントラスト領域でエッジを見つける際に有効です。 <ul style="list-style-type: none"> 位置決め: 円、エッジ 有無判定: 円、エッジ 寸法測定: 円の直径、半径測定 計数: エッジ、エッジペア 	5.8.0

修正点

注:

- 以前のリリースの変更内容については、以前のリリースノートを参照してください。5.x.x リリースノートは『In-Sight® Explorer ヘルプファイル』でもご覧いただけます。
- Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に番号が付与されています。

問題#	変更/修正	ファームウェアバージョン
IS-332	In-Sight エミュレータのスプレッドシートのセルサイズを調整したときに発生していた不具合を修正しました。以前は、セルサイズを調整したときに、In-Sight Explorer が無反応になることがありました。	5.8.0
IS-1829	Dialog 関数使用時に、ダイアログを開いたり、閉じたり、変更したりした場合に、ユーザインタフェースがハングしたり、応答なくなったり、徐々に消えたりする問題を解決しました。	5.8.0
IS-1869	<ul style="list-style-type: none"> • 1024 以上のファイルがビジョンシステムのフラッシュまたは SD カードに保存されている場合に、[In-Sight ファイル] ペイン、[保存] および [開く] ダイアログ、FTP プロンプトまたは Telnet セッションからファイルリストを表示したときに、すべてのファイルが正しく表示されるようになりました。以前は、ビジョンシステムまたは SD に 1024 以上のファイルを保存可能な場合でも、1024 ファイルのみ保存されていました。 • 1024 以上のファイルがビジョンシステムのフラッシュに保存されている場合、[In-Sight ファイル] ペインに「SDCard」ディレクトリが正しく表示されるようになりました。 	5.8.0
IS-1947 IS-1948 IS-1949 IS-1969 IS-1970	<p>ビジョンシステムが、監視メッセージサーバから切断されることがなくなりました。ビジョンシステムから監視メッセージサーバへの接続を再確立した後、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 監視メッセージが、監視メッセージサーバに正しく送信されるようになりました。 • ビジョンシステムで大量の保留メッセージがキューに入っている場合に、キューに入った監視メッセージが消失することがなくなりました。 • キューに入った監視メッセージが順番に送信されるようになりました。 • 重複した監視メッセージが、監視メッセージサーバに送信されなくなりました。 	5.8.0
IS-1992	In-Sight 2000 シリーズビジョンセンサの HSOUT 1 ストロボラインを、立ち上がりエッジまたは立ち下がりエッジでトリガしたときに、正しく動作しない問題を修正しました。	5.8.0
IS-2014	ビジョンシステムで使用中のジョブに VerifyIDCode 関数 (ビジョンツール > ID > VerifyIDCode) が含まれている場合に、ビジョンシステムのメモリが徐々に破損し、ビジョンシステムが致命的な状態になる問題を修正しました。この変更により、VerifyIDCode が返す検証済みシンボルのグレードが異なる可能性があります。	5.8.0
IS-2024	キーボードのアップ/ダウンキーを使用して、EditInt または EditFloat コントロールの値を増減する際のパフォーマンスを改善しました。	5.8.0

問題#	変更/修正	ファームウェアバージョン
IS-2048	Checkbox コントロールを含むスプレッドシートセルが、既存の値と同じ値を受け取った場合に、監査メッセージが誤って送信されることがなくなりました。さらに、Checkbox コントロールを含むタグ付きのセルの変更について監査メッセージが送信された場合に、「newValue」と「oldValue」が正しく表示されるようになりました。以前は、スプレッドシートセルの Checkbox を手動で ON にし、同じ値 (1) を設定するネイティブモードコマンドをビジョンシステムに送信した場合、監査メッセージが誤って送信され、newValue = 有効、oldValue = 無効と誤って表示されていました。	5.8.0
IS-2052	In-Sight Explorer から In-Sight 7000 Gen2 シリーズビジョンシステムにログオンした場合に、[照明の設定] ダイアログが正しく表示され、[センサ] メニュー (センサ > 照明の設定) からアクセスできるようになりました。以前は、In-Sight Explorer 5.7.3 および 5.7.4 では、[照明の設定] ダイアログが [センサ] メニューから表示されないことがあり、外部照明の設定にアクセスすることができませんでした。	5.8.0
IS-2110	Web HMIで、ASCII 以外の文字が正しく表示されるようになりました。以前は、これらの文字はスペースに置き換えられていました。	5.8.0
IS-2156	In-Sight 9902L ラインスキャンビジョンシステムが、再起動時に [エンコーダタイプ] 設定をデフォルトにリセットなくなりました。	5.8.0
IS-2162	ビジョンシステムの I/O ライン設定が変更されたときに、誤った監査メッセージが送信されなくなりました。	5.8.0
IS-2199	GetBufferData 関数 (データ・アクセス > 入出力) が、UserData データ構造体からインデックス付きデータを正しく返すようになりました。 注: GetBufferData 関数のインデックスパラメータがバッファ外のインデックスを使用するように設定されていた場合、以前は浮動小数点値 0.00 が返されていました。今は #ERR を返します。値 0.00 が必要な場合、ErrFree 関数 (数値演算 > ルックアップ) を使用して #ERR を空白のセルに変換し、エラーの拡散を止めます。	5.8.0

既知の問題

注: Cognex テクニカルサポートを介して報告された既知の問題を追跡しやすくするために、該当する場合に番号が付与されています。

問題#	問題	影響するファームウェアバージョン
IS-2200	Web HMI を使用している場合に、100 Mbps ネットワークを使用すると、PLC とビジョンシステムの間での PROFINET 接続が切断されることがあります。 回避策: 1000 Mbps スイッチ/ネットワークを使用するか、PLC ソフトウェア内で PROFINET の更新時間を長くしてください。	5.7.x 以降
IS-2195	In-Sight Explorer が Microsoft Windows 10 オペレーションシステムを搭載した PC にインストールされている場合に、[地域] ダイアログで [ベータ:ワールドワイド言語で Unicode UTF-8 を使用] チェックボックスを ON にすると、ビジョンシステムまたはエミュレータが In-Sight Explorer スプレッドシートビューに接続できないことがあります。 回避策: [ベータ:ワールドワイド言語で Unicode UTF-8 を使用] チェックボックスを OFF にしてください。 1. Windows タスクバーの検索ボックスで、コントロールパネルと入力し、[コントロールパネル] アプリを選択します。 2. Windows コントロールパネル検索ボックスで、地域と入力し、[地域] を選択します。 3. [地域] ダイアログが開きます。[管理] タブをクリックし、[システムロケールの変更] ボタンをクリックします。 4. [地域の設定] ダイアログが開きます。[ベータ:ワールドワイド言語で Unicode UTF-8 を使用] チェックボックスを OFF にし、[OK] をクリックして [地域の設定] ダイアログを閉じます。 5. [OK] をクリックして [地域] ダイアログを閉じます。 6. PC を再起動します。	N/A

問題#	問題	影響する ファームウェア バージョン
FFP-1053	スタートアップ時にジョブをロードするようにビジョンシステムを設定し ([センサ] メニュー > [スタートアップ])、EV SetSystemConfig OPCUA.TimeSync 拡張ネイティブモードコマンドを発行した場合に、アドレススペース (Objects > Server > VisionSystem > Results > JobTags node) のブラウズ時に OPC UA クライアントから OPC UA ジョブタグが消失してしまいます。 回避策: LoadJob メソッドを使用して、ビジョンシステム/センサにジョブファイルを再ロードしてください。詳細については、『In-Sight [®] Explorer ヘルプ』ファイルをご参照ください。	5.8.0
FFP-875	IP アドレス等の通信設定を、三菱電機社 iQ Sensor Solution (GX Works) から In-Sight ビジョンシステム/センサに送信する機能はサポートされていません。	5.8.0
IS-334	ビジョンシステム/センサを初めて Web HMI に接続しようとした場合、次のエラーメッセージが表示されることがあります: Permission error appears and connection is denied。 回避策: ビジョンシステム/センサのファームウェアを再インストールもしくは更新し、Web HMI への再接続を試みてください。	5.8.0
48478	In-Sight 5.6.0 以降のファームウェアが搭載された In-Sight ビジョンシステムに多数の ReadIDMax 関数を使用したジョブがロードされている場合、ビジョンシステム上で使用可能なメモリより多くのメモリが必要となることがあります。その場合、使用可能なメモリを超過した ReadIDMax 関数は #ERR を返してしまいます。例えば、100 以上の ReadIDMax 関数を使用したジョブが In-Sight 8405 ビジョンシステムにロードされている場合、この問題が発生する可能性があります。	5.8.0
45581	CIP-Sync/PTP に設定した In-Sight 7000 Gen2 および 9000 シリーズビジョンシステムでは、トランスパレントクロックスイッチによる 1588 同期の正確性が、マスターからのオフセットより 10 μ s 以上大きくなる場合があります。	5.8.0
35828	ビジョンシステムが産業用イーサネット通信プロトコルを介してトリガされた場合、ジョブに WriteResultsBuffer 関数が含まれているときのみ JobPass 信号が出力されます。この問題は、通信アプリケーションステップを設定した後の EasyBuilder アプリケーションでは発生しません。	5.8.0
32479	POWERLINK ネットワーク接続中に In-Sight ビジョンシステムのファームウェアをアップデートすると、コード 13710 が表示され、ビジョンシステムに電源を再投入しファイルをリストアする必要が発生します (ファームウェアは正常にアップデートされます)。 回避策: ビジョンシステムのファームウェアをアップデートする前に、次の手順に従って操作してください。 1. ビジョンシステムを POWERLINK ネットワークから切断し、In-Sight Explorer を開いている PC と同じサブネット上のネットワークポートにビジョンシステムを接続します。 2. ビジョンシステムに電源を再投入します。 3. イーサネットモードでビジョンシステムのファームウェアをアップデートしてください。 4. ビジョンシステムを POWERLINK ネットワークに戻します。 5. ビジョンシステムに電源を再投入します。	4.10.5 PR2